



Keio University  
School of Medicine

# 2017 Visiting Professorship Shinanomachi Urology Forum

Visiting Professor

**Naoya, Masumori** M.D.,Ph.D.

Professor and Chairman  
Department of Urology Sapporo Medical  
University School of Medicine

**January 21, 2017**

**14:00~18:15**

**Keio University, Shinanomachi-campus  
Center for Integrated Medical Research**

## “Visiting Professorship 2017” Shinanomachi Urology Forum



慶應義塾大学医学部  
泌尿器科学教室  
教授 大家 基嗣

### 開催の挨拶

謹啓

師走の候、先生方におかれましては時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

「Visiting Professorship 2017 – Shinanomachi Urology Forum」の開催をお知らせいたします。「Visiting Professorship」は、次世代の泌尿器科学研究者育成を通して、日本の泌尿器科学の発展に寄与することを目的としており、他学の泌尿器科学の教授を招聘し、泌尿器科学に関する研究を若手研究者の方から発表していただき、優秀研究発表に対して表彰を行うものです。

第7回目の今回は、「Visiting Professor」として札幌医科大学医学部 泌尿器科学講座 教授 舛森直哉先生にお越しいただき、各演題について活発なディスカッションを行いたいと考えております。

謹白

### 参加について

本研究会は、慶應義塾大学医学部泌尿器科学教室および関連施設を対象にした、開かれた会ですので、どなたでも自由に御参加頂けます。多数の皆様のご参加をお待ちしております。



## Visiting Professor

札幌医科大学医学部  
泌尿器科学講座

教授 舩森 直哉先生

昭和63年 札幌医科大学卒業  
 昭和63年 札幌医科大学泌尿器科研究生  
 平成6年 札幌医科大学泌尿器科助手  
 平成10年 Dept. of Urologic Surgery,  
 Vanderbilt University, Nashville,  
 TN Research Fellow  
 平成13年 札幌医科大学泌尿器科講師  
 平成14年 Dept. of Urology, Helsinki  
 University Finland, exchanging  
 visitor  
 平成18年 札幌医科大学泌尿器科助教授  
 平成19年 札幌医科大学泌尿器科准教授  
 平成25年 札幌医科大学泌尿器科教授

### 【専門分野】

泌尿器腫瘍  
前立腺肥大症  
性同一性障害

### 【研究テーマ】

泌尿器科腫瘍  
前立腺癌および前立腺肥大症に関する疫学  
排尿障害に関する臨床的研究  
性同一性障害

January 21, 2017

14:00~16:20

Keio University Shinanomachi-campus  
Center for Integrated  
Medical Research

14:00~14:05 【Opening Remarks】

慶應義塾大学医学部 泌尿器科学教室  
教授 大家 基嗣

14:05~16:15 【Research presentation】 発表8分  
質疑4分

司会：慶應義塾大学医学部 泌尿器科学教室

Session 1 講師 水野 隆一

Session 2 講師 菊地 栄次

### Research Session 1



分子標的薬治療前CRP値の臨床的  
重要性～転移性腎細胞癌中間  
リスク群における検討～

高松 公晴  
慶應義塾大学医学部 泌尿器科学教室  
(平成22年卒 89回)



上部尿路上皮癌における  
サルコペニアと予後の関連

案納 忠譜  
埼玉医科大学 泌尿器科学教室  
(平成25年卒 92回)



筋層非浸潤性膀胱癌が病期進展  
を来たしcT2に移行した症例と  
初発cT2症例の予後比較

加山 恵美奈  
東京都立小児総合医療センター 泌尿器科  
(平成24年卒 91回相当)

## Visiting Professor

Naoya, Masumori M.D., Ph.D

Professor and Chairman Department of Urology  
Sapporo Medical University School of Medicine



BCG膀胱内注入療法前のツベルクリン  
反応はBCG治療後の膀胱再発を予測する

丹羽 直也  
慶應義塾大学医学部 泌尿器科学教室  
(平成21年卒 88回)



膀胱全摘時における尿道全摘は  
果たして必要か？

箱崎 恭平  
伊勢原協同病院 泌尿器科  
(平成24年卒 91回)

15:05~15:15 コーヒーブレイク (10分)

### Research Session 2



転移性膀胱癌における  
長期生存者の検討～尿路上皮癌に  
Oligometastasisは存在するか～

荻原 広一郎  
慶應義塾大学医学部 泌尿器科学教室  
(平成21年卒 88回)



BCG relapsingをきたした  
筋層非浸潤性膀胱癌における  
Programmed cell death-1の発現は  
その後の病期進展を予測する因子である

福本 桂資郎  
練馬総合病院 泌尿器科  
(平成20年卒 87回)



後期高齢者における前立腺針生検の  
選択基準として、MRIとPSA-density  
の併用検査は有用か

楊井 祥典  
さいたま市立病院 泌尿器科  
(平成24年卒 91回)



FDG PET-CT施行を契機に新規前立腺癌  
診断に至った症例の臨床的特徴

勝井 政博  
国際医療福祉大学三田病院 泌尿器科  
(平成21年卒 88回)



去勢抵抗性前立腺がんにおける  
タキサン系抗がん剤耐性克服戦略

本郷 周  
慶應義塾大学医学部 泌尿器科学教室  
(平成21年卒 88回)

16:15~16:20 【Closing Remarks】

慶應義塾大学医学部 泌尿器科学教室  
教授 大家 基嗣

### SPECIAL LECTURE

17:15~18:15 (ホテルニューオータニ)

【一般講演】『ゴナックスに関する最新の話』  
アステラス製薬株式会社 東京支店学術室

座長 慶應義塾大学医学部 泌尿器科学教室  
准教授 宮嶋 哲

「泌尿器科医としてできたこと・できそうなこと  
～私の行ってきた研究・診療のこれまでとこれから」

札幌医科大学医学部 泌尿器科学講座  
教授 舩森 直哉 先生

## Visiting Professorship2014 (January 25 ,2014)

Visiting Professor

中川 昌之 先生

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科泌尿器科学分野 教授

Best Presentation

Basic Research 萩生田 純 (平成14年卒 81回)

Clinical Research 早川 望 (平成18年卒 85回相当)

## Visiting Professorship2015 (January 17, 2015)

Visiting Professor

筧 善行 先生

香川大学医学部 泌尿器・副腎・腎移植外科 教授

Best Presentation

前田 高宏 (平成15年卒 82回)

福本 桂資郎 (平成20年卒 87回)

## Visiting Professorship2016 (January 16, 2016)

Visiting Professor

那須 保友 先生

岡山大学大学院医歯薬総合研究科泌尿器泌尿器科病態学 教授

Best Presentation

本郷 周 (平成21年卒 88回)

小林 裕章 (平成20年卒 87回)

丹羽 直也 (平成21年卒 88回)

## Department of Urology, Keio University School of Medicine

Staff	教授	大家 基嗣
	准教授	宮嶋 哲
	講師	浅沼 宏
	講師	菊地 栄次
	講師	篠島 利明
	講師	水野 隆一
	講師	小坂 威雄
	講師	篠田 和伸
	助教	森田 伸也
	助教	松本 一宏

## Current Fellows

丹羽 直也 荻原 広一郎 本郷 周

## Current Residents

増田 彩	佐藤 温子	環 聡
茂田 啓介	高松 公晴	寺西 悠
村上 哲史	大村 美波	荘所 一典
馬場 優人		

## notice

14:00~16:20

Research Presentation



17:00~18:15

SPECIAL LECTURE

ホテルニューオータニ ガーデンコート5F 『アリエスの間』



ホテルニューオータニ

共催

信濃町Urology Forum/アステラス製薬 (株)

“Visiting Professorship 2017”  
Shinanomachi Urology Forum 事務局

慶應義塾大学医学部泌尿器科学教室内  
〒160-8582 東京都新宿区信濃町35  
TEL03-3353-1211 (内線62423)  
FAX03-3225-1985